

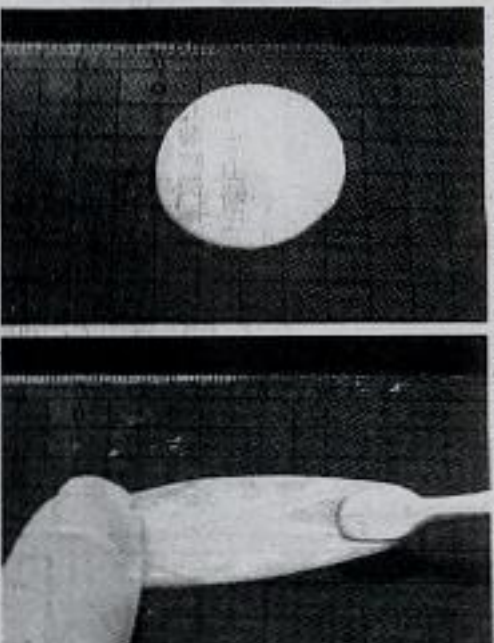
種類がある。自動車業界などの大手顧客ではライン変更などの自由度が高い分散型の需要が高まっている。同社はこの分散型を得意とし、事業拡大の好機と判断した。

品ぞろえの充実と販売強化により、05年度見込みで15%の国内シェアを04年度には30%以上に高める考え。

「CMC」レベル5を取得、古河電工グループでのSOX法対応のほか、グループ以外へのソリューション事業を強化していく。

# ゴム状収縮のカラーゲン

北大など サケたんぱく質で



純白のマテリアル①、最大で自長の約3倍伸びる②

001」の研究チームは、初めてゴム状に収縮するカラーゲン素材を開発した。サケの皮由来のたんぱく質に架橋剤（水溶性アルボシイミド）を

さらに、「魚類ならウシ由来のカラーゲンと違い、牛海綿状脳症（BSE）のような人獣感染症の心配がない」（棟方敦

さる。このため、棟方教授らは変性温度を上げようとカラーゲン繊維の架橋を試みた。

処理温度や架橋剤の濃度など、さまざまな条件で実験した結果、

温度が高いとセラチンに変性してとろとろになってしまう、バイオマテリアルに使用できなくなる。特に哺乳類や鳥類のカラーゲンと違い、サケの皮は19度Cでセラチンになる。このため、棟方教授らは変性温度を上げようとカラーゲン繊維の架橋を試みた。

処理温度や架橋剤の濃度など、さまざまな条件で実験した結果、

「このかわりの」に、変わらな

だそうとす

映なのたる

で安価なク

時計全盛の時

えて機械式

に「たわる

## 産業春秋

に否定的に注

た。ところ

「このかわりの

いう具合に

われること

化を強いら

に、変わら

続けること

だそうとす

映なのたる

で安価なク

時計全盛の時

えて機械式

に「たわる

## 計測器など保守サービス

### 京都EIC 共同で代行会社

【京都】京都EIC（1・5150）は、東日本各種設備機器の保守サービス代行会社を共同で、計測器など

【京都】京都EIC（1・5150）は、東日本各種設備機器の保守サービス代行会社を共同で、計測器など

MONDAY INTERVIEW

# 波を全国に

に乗りつつある。また、06年度は基礎技術を持つモノづくりの中小企業の支援策が投入される。中小機械の抱える支援ツールを最大限に生かしていきたい。

「新たな地域経済活性化策の検討も始まっている。中小機械の役割は、

「独立行政法人として04年7月にスタートして1年8カ月、当初から「地域」と「中小企業」をキーワードに、民間的な発想で、各種支援事業を展開してきた。中小機械の知名度も各地域に浸透しつつある。中小企業の振興と地域の活性化を両立させるような国の動きを踏まえて、中小機械は地域の

ニーズ、あるいはプロジェクトをさらに掘り起こす必要性がある。そして、国の政策に結びつける役割が中小機械に期待されている。国と地域をつなぐ橋渡し役を意識したい。」

「今後、力点をどこに置きますか。」

「いかに総合力を発揮するかが、ここが重要だ。今ある全国9支部体制の足腰を一層強化して、国の支援策などを広く普及させていきたい。」

### 略歴

すずき、たかお 04年（昭42）東大卒業、同年通商産業省（現経済産業省）入省。90年産業政策局総務課長、94年中小企業庁次長、95年環境立地局長、98年中小企業金融公庫理事、98年日本自動車工業会副会長兼専務理事、04年7月中小機械理事兼、千葉県出身、61歳。

## 鈴木 孝男氏

企業基盤整備機構理事長

できない中小設備機器メーカーや輸入機械商社などからの受託をもらう。共同で設立した新会社が4月1日に営業を開始、5年後に売上高10億円を目指す。

新会社の社名は日本EICサービス協会（JEISA）で、本社は京都府久御山町に置く。JEISAには両社を含む設備メンテナンス関連企業6社などが共同出資した。資本金は2400万円。出資企業に加えてパートナー会員企業を全国から募り、サービスネットワークを構築する。保守サービスは計測器、制御機器、電装装置などを対象とする。

機器トラブル発生時に契約先から連絡を受け、JEISA事務局が最寄りのパートナー会員を選択。事前に顧客のもとで対象機器の研修を受けた技術者を現場派遣する。顧客会員の標準年間契約料は300万円。別途、入会金として年会費の3分の1が必要となる。技術者の派遣費用は1回4万円。トータルコ

員10人以下の場合、保証金を含め80万円となる。技術者を派遣した月は、JEISAから会費5%を差し引いたサービス料を受け取る。

JEISAは資本力の弱い中小のサービス受託会社の販路拡大を支援することにも、サービス技術の向上も狙う。初年度は顧客会員10社、パートナー会員20社程度の募集にとどめ、着実な運営で軌道に乗せていく。

ハイテクガラスで未来をつくる

# 日本電気硝子

<http://www.neg.co.jp/>

が、拡大観測

がらの手作業

部品を加工

く精度を追求

く愛には感

る▼機械式

のシェアは

圧倒的。同

治社長は「

10%を自

に、ここ

いる日本の

の技術、技

次の世代に

くのが使命

▼硝子は種

をはぐくん

技能士は1

伝統を守る

谷登軍需の

る。匠の世

感じさせる

種のモノづ

と助の世界

弟子がつき

にしか伝

分」を必死

石の風土で

たちが匠の

を継承する